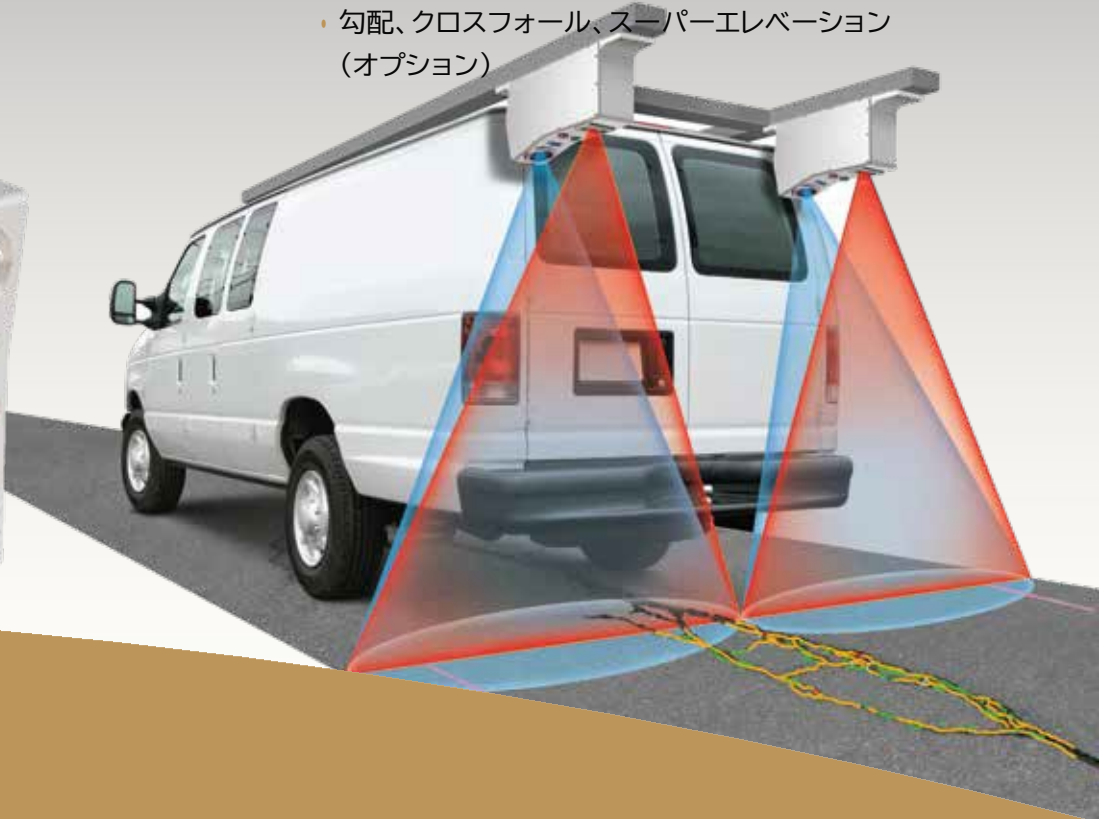


Laser Crack Measurement System (LCMS-2)

道路性状調査システム

主な機能

- ひび割れ自動検出（密封補修されたひび割れ及び非密封のひび割れの両方を検出）
- 縦断面プロフィールと粗さの計算（オプション）
- わだち掘れ測定
- 浸水計算（オプション）
- エッジ・ドロップオフと縁石の検出と測定
- ポットホール検出と測定
- ラベリングの検出と測定
- AASHTOの全5バンドのマクロテクスチャ（MPD、MTD）の測定
- ピックアウトの検出
- ブリーディングの検出と測定
- 剥離と段差の検出と測定
- 下水道と雨水排水管の検出とリスト化
- ランブルストリップスの検出とリスト化
- ジョイント検出、剥離、断層の測定
- 舗装タイプ検知（アスファルト、チップシール、ポーラス、コンクリート）
- 舗装マーキングの検出と寸法測定
- 測定値と画像のGPSタグ付与（任意のGPS）
- 勾配、クロスフォール、スーパーエレベーション（オプション）



交通インフラ自動検査用
ビジョンシステム

Laser Crack Measurement System (LCMS-2)

システムの性能

- ・レーザー・プロファイラー数: 2
- ・モーション補正: 内蔵IMU+独自アルゴリズム
- ・データ取得レート: 28,000断面/秒
- ・車両走行速度: ~100 km/h
- ・断面解像度: 1mm ~ 5mm
- ・横方向視野: 4 m
- ・横方向解像度: 1 mm (4,096点/断面)
- ・垂直精度: 0.25 mm
- ・垂直方向解像度: 0.05 mm*
- ・レーザー・プロファイラーの寸法:
428 (高さ) x 265 (幅) x 139 (奥行) mm
- ・重量: 13 kg(センサーヘッド1個あたり)
- ・電源容量(最大):150W(対応電圧120-240V)
- ・保護等級:IP 65

* 25mm(1インチ)間隔のIRI測定における垂直解像度(コンフィデンスレベル95%)

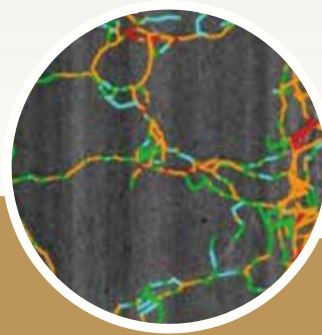
レーザークラック測定システム (LCMS-2)

レーザー・ライン・プロジェクター、ハイスピードカメラ、高度な光学系を使用して、道路の高解像度3D断面を取得します。独自の3Dビジョン技術により、アスファルト、ポラスアスファルト、チップシール、コンクリート表面の舗装状態を自動的に評価することができます。LCMS-2は、最高時速100kmの調査速度で4mの車線幅にわたって1mm解像度で路面の3Dと2Dの両方の画像データを取得します。

LCMS-2のデータは、ストレージの必要性を最小限にするため、調査車両内でリアルタイムに取得・圧縮されます。収集されたデータは、Pavemetricsのデータ処理SDK(C/C++関数のDLLライブラリ)を使用して分析可能です。SDKには、ひび割れ、レーンマーキング、くぼみ、わだち掘れなどを検出・解析する機能が含まれています。また、4,000以上のポイントを使用して、わだち掘れの測定と特性評価も可能です。コンクリート路面をスキャンして、コンクリートスラブ間の継ぎ目、剥落、断層を評価することができます。内蔵IMUにより、縦断面、IRI、勾配、横ずれを測定するオプションが利用できます。



人工オブジェクト



補修されていない
ひび割れ



密封補修されている
ひび割れ

お問い合わせ先: **株式会社みるくる**

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町1番2号
渋谷サクラステージ セントラルビル9F
TEL:03-5422-3207 / FAX:03-5422-3208
Email : sales@spt.mirukuru.co.jp
http://www.mirukuru.co.jp

交通インフラ自動検査用
ビジョンシステム